彼女は、もう私の気持ちをわかって 言えなかったの」という言葉でした。 たのは「どうして「私がやります」と 訴えました。でも母親から帰って来 り、さっそく母親にその日のことを 泣きたいのを必死にこらえて家に帰 として何も言えなかったそうです。 A子に」という同調の声。彼女は唖然

れる人はだれもいない、と、がっか

長

い時間をかけて、彼女が二十五メ

出して彼女の応援を始めたのです。 笑い声も消えました。みんなが声を

に向かって涙を流しながら、わが子 てみると、目に入ってきたのは、仏壇 でも、数時間後に、そっとドアを開け りして部屋に入ってしまいました。

プもみんな泣いていました。

(読売新聞より抜粋)

も、先生も、そしていじめっ子グル

トルを泳ぎ終わった時には、

# VOL.

空気を清め、自分の心の中も清め

仏前、墓前に線香をつけるのは

18 電話/0749(22)5888

HP http://www.tanakaya-sekizai.com/Mail info@tanakaya-sekizai.com

### お盆です。 お盆には、お仏 壇、 お墓に手を合わせまし ょう。

日本古来の信仰に基づく行事です を過ごし、また帰っていくという ら帰ってきて家族と楽しいひと時 お盆とは、先祖の霊があの世か

## お盆の由来

う人が、実母が餓鬼道に墜ち苦 って無事成仏させたという「仏説 救済のための供養を営み功徳をも んでいるのを釈迦の教えに従い、 釈迦の弟子である目連尊者とい

『月』のことをさす古い中国の言葉 暦」といいます。この「太陰」とは

太陰暦は自然現象として月と深 のお盆 0

> ります。 月との関係でいけば必ず満月にな 中心「七月十五日」は自然現象の

なる月遅れの八月盆を選んだ』と 新暦をさけ、あえて月光の美しく やってくるという考えから、梅雨の のは、『月の光を頼りに先祖の霊が いうので、多くの地方が八月盆な いう説もあります。 お盆に先祖の霊が戻ってくると

は踊るには十分明るく、 りのもとで踊りました。月明かり 月(旧暦一月十五日)満月です。 なみに昔、盆踊りは、満月の月明か ドのあるやわらかい 民族行事上の正月とされる小正 しかもム 5

光はロマンチック な演出でした。

「袖振り合うも多生の縁」。

自然に運も上向いてくるという意 人との出会いがたくさんある程、 いう言葉があります。これは、良い 『地蔵本願経』に「多逢聖因」と

真に仏国土となれば、神仏、すべて

くけむりが天に昇って、天と地が

と『不動経』にあるように、香を焚 天より天下る大日大製聖不動明王」

うた縁も生かす。」とあります。 て縁を生かさず。大才は袖すりお 縁に気づかず。中才は縁に気づい の家訓には「小才は縁に出会いて 良き縁に気づいて、良き縁を大

切にしましょう。

さ・貪り」「過去・現在・未来」「お

を届けるとも云われ、「怒り・愚か りを通して御先祖様、仏様に思い えられています。また、香りとけむ るためにお供えするものとして伝

味で三本お供えしても良いといわ 釈迦様・教え・僧侶」に感謝する意

れます。「香のけむりは天に昇り、

づくものである。という意味でよ く耳にします。 人との出会いも全て深い因縁に基 どんな小さな事、ちょっとした

味です。

徳川家の指南役であった柳生家



## 我が 家の

紋の上位に位置する二紋です女性に好まれる

# 一篇紋(うたもん)

掛けたのでしょう。江戸時代では六郷 軍吉宗も葵紋とは別に、蔦紋を替紋と 美しさも格別。江戸時代、庶民はこの 木村、永田の諸氏が 氏と藤堂氏が挙げられ、他の徳川氏の して創生しています。徳川家の発展に して記されています。また徳川八代将 には、椎名、富田、高安氏などの家紋と 主な使用家としては、「見聞緒家紋」 蔦の性質をめで紋にしたといい 樹木などにからまって繁殖繁栄する、 蔦が、古風な洋館や大木にはいのぼる みの紋です。晩秋いちめんに紅葉した シンプルで、雅趣に富んでいて女性好 かたばみ、蝶といいます。蔦紋は形が 族では松平諸氏がこの紋を用いて ます。他の使用家は清和源氏流の井 女性の好きな家紋のベスト3は、蔦 神尾の諸氏、宇多源氏の志賀

# **酢漿草紋**(かたばみもん)

枚浮いていたことから、「七つかたば ときの別れの盃にかたばみの葉が七 氏はその祖、泰能俊が土佐に下向する で浮田、のちに佳字をあてて字喜田に 帯であった児島郡を開拓して田にし 備前の宇喜田氏は、かつて広大な湿地 藤谷、入家の諸家が使用していました。 とあります。公家では、大炊御門、冷泉、 多賀、赤田、平尾などの諸氏が用いた ばみ紋が多いようです。主な使用家と み」を紋としていました。かたばみ紋 したといいます。また土佐の長曽我部 たといわれています。水が多い田なの して、「見聞諸家紋」には、肥田、中沢、 が面白いですね。田のつく姓にはかた 花言葉を「賢い婦人」といっているの 親しまれており、西洋でもかたばみの 良妻と賢母を両立させる草としても まれる紋といわれる由縁です。また、 たばみ紋の葉はハー にあらわれるという話があります。 て鏡を磨くと、想う人の顔が鏡のなか 昔話に、かたばみの葉をすりつぶし ト形で、女性に好



1.3 ●技術資格/厚生労働大臣認定 石積一級技能士 厚生労働大臣認定 石貼一級技能士 厚生労働大臣認定 石材加工一級技能士 ◆松下電工労働組合加盟店 ◆ブリヂストン生協加盟店 ◆財務省印刷局彦根朝陽会加盟店

空気を祓い清めるためです。

るとあります。

に一体となり浄土の世界を現出 の諸神、諸天神は日、月、星ととも

す

仏前で香を焚くのと同じ意味で 榊につけ、それを左右にふるのは、 神官が神を迎えるとき、御幣

盂蘭盆経」からきています。

お盆と正月

「旧暦」の正式名称は「太陰太陽

い関係があります。 旧曆

のことを必死で祈っている母の姿で

背広を着たままザブンとプールに飛 び込んだのです。そして、彼女のそば 程まで進んだ、その時です。男の人が えてきます。でもやっとプールの中 りからはワアワアという奇声が聞こ 二分もかかってしまうのです。まわ 無理な体です。一メートル進むのに がきました。でも泳ぐなんてとても の自分が恥ずかしくてなりません。 日がやってきました。彼女は水着姿 に気づいたのです。 一人、二人と泳ぎ、とうとう彼女の番 そして、とうとうその水泳大会の

のです。

夏の水泳大会の選手選びの時です

母親はあえて普通校に通わせていた

害もあるというハンディを背負った

女子生徒がいました。でもその子

す。その高校にはA子さんといって

広島のある高校であった出来事で

彼女は自分が自分に負けていたこと

した。その母の後ろ姿を見ながら、

め

と励ま

小児マヒで足が不自由な上、言語障

生だったのです。一瞬にして奇声も 背広の人はなんとその高校の校長先 彼女と一緒に進み出しました。その るんだ。あと少しだ」と励ましながら に行って「がんばるんだ。しっかりや

おう」と言い出したのです。「そうや、

いじめグループが、「A子に出てもら らない。そうこうするうち、クラスの り決まり、あと一人がなかなか決ま 四人の選手のうち三人まではすんな